



令和4年3月10日（木）発行

学校だより No.16



沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》

- 向学 ……自ら学ぶ生徒
- 礼節 ……思いやりのある生徒
- 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

卒業する3年生の皆さんへ

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。「光陰矢の如し」と言うように振り返ってみると、あっという間の3年間だったと思いますが、この3年間で皆さんは心身ともに大きく成長することができました。沼田西中で身につけた「やる気・勇気・根気」を基に大きく羽ばたいてください。3年間学んだ沼田西中学校を巣立ち、それぞれの道に進んで行くこととなりますが、進む道は違っても固い絆で結ばれた友達は一生の友達です。そして、沼田西中の先生方は、いつまでも皆さんを応援しています。

卒業する皆さんにとって、特にこの1年間はとても貴重な1年間だったと思います。新型コロナウイルス感染予防のため、行事が中止や縮小になったり、日常生活でも様々な制限がありました。しかし、皆さんはそんな苦境の中でも落ち着いて自分達のやるべきことに誠実に取り組み、そして明るさを忘れずに、毎日の新型コロナウイルス感染予防に取り組みながら、勉強・部活・学校生活に全力を注ぎ「やる気・勇気・根気」を伸ばしてきました。



2年ぶりに開催された運動会では、無観客で半日開催という条件の中でしたが、実行委員会を中心にコロナ対策をしながら楽しく取り組み、クニ種目やルールを工夫し、どのクラスも優勝目指して全力で取り組み、クラス・学校全体の絆を深めました。西中祭でも、大きな成果をあげる事ができました。とても楽しみにしていた修学旅行が新潟方面への変更になりました。旅行に変更になった時、きつととても残念だったと思いますが、旅行委員を中心に楽しい旅行にするために事前の準備をしつかりして、新潟旅行を心の底から楽しむことができた。新潟旅行を通して、お互いの友情を深めながら一生の宝物となる思い出をつくることができました。2学期最後の生徒集会で披露してくれた合唱は、卒業して行く3年生の気持ちが込められた素晴らしい歌声でした。聴いている人に感動を与えました。私自身も聴いて、その素晴らしさに感動し目頭が熱くなりました。

そんな素晴らしい成果をあげることができたのは、日々の生活で自分達がやるべきことをしっかりと行ってきたからこそです。毎日の授業に集中して取り組み、係や当番も責任をもって取り組むことができました。また、学校の中心となって学校全体をリードする姿に、3年生の大きな成長を感じました。

3年生の皆さん、お別れするのはとても寂しいことですが、この西中で身に付けた力を基に自分の夢に向かって大きく羽ばたいてください。今後の皆さんの活躍を期待しています。

3年生の保護者の皆様

お子様の卒業おめでとうございます。3年間で大きく成長し卒業する我が子の姿に、感激もひとしおのことと思います。

3年間、本校の教育活動推進にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。特に、新型コロナウイルス感染拡大予防対策では、多大なるご理解とご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。お子様の卒業後も引き続き、それぞれのお立場からご支援いただければ幸いです。

一人一人の将来に幸多かれとお祈りいたします。

本年度の取組を振り返って（年度末生徒総会より）

年度末生徒総会が2月28日（月）に行われました。新型コロナ感染予防対策として、代表者のみ体育館に集まり、発表等の様子をリモートで各クラスとつないで行いました。



総会では、各学級・各専門委員会・各部活動・生徒会本部から本年度の取り組み内容や成果、また次年度への引き継ぎ事項等の発表、そして会計の中間決算報告がありました。その後、それに対しての質疑があり全議案が承認されました。各代表がしっかりと発表し、その責任を見事に果たしていました。また、リモートでつながれた各クラスでも、真剣に画面を通して生徒総会に参加しており、素晴らしい総会となりました。



そして、もう一つ素晴らしいことがありました。それは、各議案が承認された後、議長が「他に提案等をおもちの人は居ませんか」と問いかけると、3年生が「臨時生徒総会で決めたタブレットの使い方ルールが、現在あまり守れていないように思います。何か解決策が必要だと思います」と提案したのです。これに対して新本部役員から、まず使い方ルールを確認した上で、「確かにそのような現状があるので、今後アンケートを実施して解決策を考えていきたいと思いますので、アンケートにご協力をお願いします」と答弁しました。私は、この質疑応答を見ていて「これぞ主体的で課題解決的な生徒総会！」と感心しました。



本年度の生徒会は、前期生徒会テーマの通り大きく「躍進」しました。そして今後、後期生徒会テーマである「輪」によって全員が手を取り合い、益々全校が強い絆で結ばれた素晴らしい生徒会になっていくことを確信しました。

最高の卒業式にするために（学校集会の校長の話より）

卒業式は、最大の学校行事であると言われる。なぜ、最大なんでしょうか。それは、卒業式が義務教育を修了し社会人となる基礎を身に付けたことを認める式だからです。つまり、9年間の努力の積み重ねによる成長が認められ、9年間の学校生活の全てが詰まった義務教育の集大成だということです。

さて、そんな重要な卒業式を最高の式にするためには何が必要でしょうか。卒業生として大切なことは、これから始まる新しい生活への夢や希望、そしてお世話になった保護者や地域の方々・先生方・共に喜び時には涙し切磋琢磨してきた友など、自分を支えてくれた人達への感謝の気持ちを、卒業式に臨む姿で表すことです。在校生は、今回は教室からのオンラインでの参加となりますが、心は体育館で卒業生を送るのと同じように、これまで卒業生に教えてもらったことや助けてもらったことへの感謝の気持ちをもって各教室で画面を通して卒業式に真剣に参加することです。



つまり、自ら卒業式に真剣に取り組み、互いが協力し合ってこそ「最高の卒業式」になるのです。そういう意味で卒業式は、義務教育の集大成であると同時に本年度の重点目標だった「主体性と支え愛」の集大成の場でもある、ということなのです。

卒業生、在校生それぞれの思いを込めて、「第56回卒業証書授与式」を最高の卒業式にしよう！！

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

上述した生徒総会が終わった時のことでした。みんなで協力して片付けが始まりましたが、私は椅子から立って発表者に声を掛けに行きました。その後、私も片付けをしようと自分の席に戻ってみると、そこにはもう私が座っていた椅子はありませんでした。誰かが気を利かせて片付けてくれたのです。私は、そのさりげなく自然な親切に感激しました。

誰が片付けてくれたんだろうかと辺りを見渡しましたが、全員が協力して片付けをしていたので、誰が片付けてくれたのかは分かりませんでした。西中にはこうした親切な生徒がたくさん居るという事実が、私には何よりも嬉しいことでした。

